



蒲郡駅南口前の広場

答 地域集会所の防災施設整備は、今後、総代連合会と協議し、前向きに検討していきたい。

**駅南、中部、蒲南の
区画整理の進捗状況は**

問 駅南、中部、蒲南の各土地区画整理の今後の事業進捗について伺う。

答 駅南地区は蒲郡港線、通称五十m道路（現在アピタ駐車場利用地部分）の整備をしている。駅前広場の整備は平成十九年度完了を目標に努力する。

中部地区は区域内の名豊線、本宿線、蒲郡環状線の整備を、地区外との関連もあり、所管部署と調整を図

り整備推進したい。蒲南地区は四億八千万円が補助対象事業であり、早期の事業完了に努力する。

**産業界独自の産廃処理
施設に市の支援を**

問 繊維製品の不良品、農業の廃棄ビニール、飲食業の残飯など産廃廃棄物処理は産業界共通の課題である。産業界が独自に産廃処理施設を建設しようという声があるが、市としてできる支援はないか。

答 産業界の皆さん自らが産廃の適正処理施設整備を進める気運が盛り上がり、市としても、産業振興、環境保全の観点から財政的な援助を前向きに行いたいと考えている。

**公明党蒲郡市議団
代表 伊藤勝美**

**安心のまち蒲郡
について**

問 「安心のまち蒲郡」のための施策の中から、



次の三点について伺う。
(1)緊急通報用電話機貸与事業の現在の貸与状況と緊急通報の状況、今後の取り組みはどのようなか。
(2)子供の読書活動推進計画への取り組みに対する考えと十五年度予算の状況はどのようなか。
(3)市防災訓練で、家庭にあるのこぎりやボール等を使った個人レベルの救出訓練を導入する考えはないか。

答 (1)対象者数は約二千五百世帯で、貸与世帯は四百八十五世帯となっている。十四年度の通報内容は急病二十二件、火災一件で、その他誤って操作してしまったケースも相当あった。今後も拡充していきたいと考えている。

(2)「自然と共生するまち蒲郡」の中から、次の二点について伺う。
(1)市民のごみだしマナーの向上のため、マナーの悪い地域をごみ散乱防止重点地域に指定してはどうか。また、今後のマナー向上策をどう考えているか。
(2)とよおか湖公園の利用状況と今後の整備計画、管理運営体制はどのようなか。

答 (2) これまでも読書指導には力を入れてきたが、推進計画は県の策定する計画を踏まえて、取り組んでいきたい。十五年度では学校図書充実のため図書購入費三百万円を増額した。
(3)災害時に隣近所など住民同士の助け合いは必要不可欠であるので、今後の訓練への取り入れについて検討していきたい。



とよおか湖公園

答 (2) 冬場は残念ながら訪れる人が少ない状況であるが、十四年度末には管理棟を新設し、パーゴラ・ベンチを設置し完成する。今後は四季を通じて自然が満喫できる憩いの場となるよう管理していく。
明るく元気なまち蒲郡について

問 「明るく元気なまち蒲郡」の中から、次の二点について伺う。
(1)観光振興について、ラグーナ蒲郡との連携の方向性と、浜名湖花博や愛知万